

報道関係各位

2023年7月12日

公益財団法人 国際高等研究所

国際高等研究所「けいはんな“エジソンの会”」第43回会合のご案内 「サイバーフィジカルシステム（CPS）の衝撃」

公益財団法人国際高等研究所（木津川市、理事長 上田輝久、所長 松本紘）は、立地機関によるコミュニティの形成と、この街ならではの基幹技術・基幹産業の確立を目指して、2016年度から「けいはんな“エジソンの会”」を開催しています。

第43回会合では、情報に関わる数々の国家プロジェクトを牽引し、本年度より情報・システム研究機構において、更なる分野の枠を超えた研究を通して、社会課題の解決に取り組まれている喜連川 優 氏より、我が国のデジタル技術の最新動向、グローバルにおける日本の果たすべき役割と今後の展望についてご説明を頂きます。また、企業からは、医薬品製造の技術開発部門で、新技術開発・導入をリードする辛島正俊氏より、計算化学とAIベースの予測モデルやオートメーション技術の活用、CMC（Chemistry, Manufacturing and Control）開発段階における工程シミュレーションや機械学習、ロボティクスの活用、臨床段階でのリモート化やデジタルデバイスの利活用についてご紹介頂きます。

日本を代表するおふたりのご登壇者と語り合い、議論し合うことを通して、これからの社会を勝ち抜くための多くの発想やヒントを持ち帰って頂き、明るい未来に向けて「元氣の出る」会合にしたいと思います。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

【開催概要】

◆日時 2023年8月31日（木）14:00～18:00（受付：13:30～）

◆場所 国際高等研究所レクチャーホール（木津川市木津川台9丁目3番地）

◆プログラム ※情報交換会を再開いたします。

14:00-15:00 「未知の智を創る～データ駆動型の科学・社会への転換～」（仮題）

喜連川 優 氏 きつれがわ まさる 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 機構長
東京大学 特別教授

15:10-16:10 「世界に尽くせ～革新的な医薬品の創製と開発を通して～」

辛島 正俊氏 からしま まさとし 武田薬品工業株式会社 ファーマシューティカルサイエンス
サステナビリティ&テクノロジー イノベーション ヘッド

16:15-17:15 インタラクティブ・セッション

ご登壇者（喜連川 優氏、辛島 正俊氏）

上田 修功氏 うえだ なおのり エジソンの会スーパーバイザー

17:20-18:00 情報交換会

◆参加費 一般 3,000円 大学生および大学院生（30歳以下）は無料

◆定員 50名（先着順） 18歳以上

◆主催：国際高等研究所 ◆後援：理化学研究所 関西文化学術研究都市推進機構

◆申し込み方法（ホームページ） <http://www.iias.or.jp/communication/edison>（近日公開予定）

※当会合は一般参加者を受け付けております。告知記事にご協力いただきます様お願い申し上げます。また報道関係者の皆様のご参加ご取材を受け付けております。（別紙参照・報道関係者の方は参加無料）

○「けいはんな“エジソンの会”」の目指すところ

けいはんな「エジソンの会」は、けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するため、国際高等研究所が知的ハブとしての役割を果たすとともに、立地機関の研究者や技術者のコミュニティを形成し、具体的な「オープンイノベーション」の成功事例の確立に寄与することを目指し、2016年6月21日に発足しました。

「エジソンの会」は発足以来、AIを中心とした最新の科学技術の動向や知識の共有、国の研究機関や大学での研究開発成果、先進企業の取り組み、人文社会面からの考察等、参加機関に対し、知識の幅を広げるための取り組みを実施し、これまでに42回の会合を開催してきました。

○第43回会合の講演者

きつれがわ まさる
喜連川 優氏

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 機構長
東京大学 特別教授

1983年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了（工学博士）。

2003年東京大学生産技術研究所戦略情報融合国際研究センター長、2010年東京大学地球観測データ統合連携研究機構長、2013年国立情報学研究所所長などを経て、2023年より情報・システム研究機構機構長。

専門はデータ工学。ACM SIGMOD エドガー・F・コード革新賞、電子情報通信学会功績賞、情報処理学会功績賞、全国発明表彰「21世紀発明賞」、C&C賞、IEEE Innovation in Societal Infrastructure Award、日本学士院賞などを受賞。2013年に紫綬褒章、2016年にレジオン・ドヌール勲章を受章。情報処理学会会長、日本学術会議情報学委員長、日本データベース学会会長などを歴任。

からしま まさとし
辛島 正俊氏

武田薬品工業株式会社 ファーマシューティカルサイエンス サステナビリティ&テクノロジー
イノベーション ヘッド

2003年、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。同年、武田薬品工業（株）入社、CMC部門の開発分析研究所にて医薬品分析研究および物性・プレフォーミュレーション研究に従事。その間、2017年に明治薬科大学にて博士号（薬学）取得。2020年より、現職であるCMC部門におけるデジタルトランスフォーメーションの推進を担当し、現在に至る。

<エジソンの会に関するお問合せ> けいはんな「エジソンの会」事務局 担当:草野 忍
公益財団法人国際高等研究所 TEL: 0774-73-4000 / FAX 0774-73-4005
〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

FAX 返信用紙

ご取材・ご参加いただく場合は、

FAX 返信票、もしくは下記宛てにメールにてお知らせ下さい。

FAX:0774-73-4005 / Mail: edi-four@iias.or.jp

国際高等研究所 (担当: 草野)

※8月29日(火) 17:00までにご連絡ください。

2023年8月31日(木) 開催「けいはんな“エジソンの会” 第43回会合」

貴社名	
貴媒体名	
部署名	
カメラ	スチール・ムービー・無 (○でお囲み下さい)
ご芳名	
ご同行者	有 (人数) ・ 無 (○でお囲み下さい)
お電話	
Email	
連絡事項	

第43回 けいはんな エジソンの会

サイバーフィジカルシステム (CPS) の衝撃

喜連川 優氏

「未知の智を創る ～データ駆動型の科学・社会への転換～」(仮題)

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 機構長
東京大学 特別教授

辛島 正敏氏

「世界に尽くせ ～革新的な医薬品の創製と開発を通して～」

武田薬品工業株式会社 ファーマシューティカルサイエンス
サステナビリティ&テクノロジー イノベーション ヘッド

科学技術の進化は、創造的破壊を繰り返しながら社会を大きく変える原動力になってきました。途切れることのない「デジタル化の波」は、サイバー空間とフィジカル世界との連携と融合を図りながら、さらなるステップへ加速し、指数関数的な進化を遂げています。

第43回会合では、情報に関わる数々の国家プロジェクトを牽引し、本年度より情報・システム研究機構において、更なる分野の枠を超えた研究を通して、社会課題の解決に取り組まれている喜連川優氏より、我が国のデジタル技術の最新動向、グローバルにおける日本の果たすべき役割と今後の展望についてご説明を頂きます。また、企業からは、医薬品製造の技術開発部門で、新技術開発・導入をリードする辛島正敏氏より、計算化学と AIベースの予測モデルやオートメーション技術の活用、CMC(Chemistry, Manufacturing and Control) 開発段階における工程シミュレーションや機械学習、ロボティクスの活用、臨床段階でのリモート化やデジタルデバイスの利活用についてご紹介頂きます。

日本を代表するおふたりのご登壇者と語り合い、議論し合うことを通して、これからの社会を勝ち抜くための多くの発想やヒントを持ち帰って頂き、明るい未来に向けて「元気の出る」会合にしたいと思います。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

どなたでも
参加できます!
情報交換会を
再開します。



日時 2023年 8月 31日(木) 14:00~18:00

会場 国際高等研究所レクチャーホール
京都府木津川市木津川台9丁目3番地

参加費 3,000円 大学生および大学院生は無料
(30歳以下)

定員 50名(先着順)

申し込み ホームページからお申し込みください
<http://www.iias.or.jp/communication/edison>
18才以上であればどなたでも参加できます!!

締切 2023年
8月29日(火)

けいはんな「エジソンの会」とは…

けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するため、国際高等研究所が知的ハブとしての役割を果たし、立地機関の研究者や技術者を中心にあらゆる人が出入り自由なコミュニティの形成と、この街ならではの基幹技術・基幹産業の確立を目指して、2016年6月21日に、けいはんな「エジソンの会」を発足しました。

お問い合わせ

エジソンの会事務局

Tel : 0774-73-4000 e-mail : edi-four@iias.or.jp

主催 : 公益財団法人国際高等研究所

後援 : 国立研究開発法人理化学研究所、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構

